

・GIGA 教育・目の休憩・教室の明るさについて

GIGA スクール構想に伴う端末利用や照明環境については、日本眼科医会が公式見解を示しています。学習時の姿勢・視距離・休憩の取り方・教室照明の配慮など、児童の目の健康を守るためのガイドラインがまとめられています。

参照:日本眼科医会「GIGA スクール構想における ICT 活用と児童の眼の健康」

[https://www.gankaikai.or.jp/school-health/20210305\\_ICT\\_GIGA.pdf](https://www.gankaikai.or.jp/school-health/20210305_ICT_GIGA.pdf)

・台湾以外の海外で行われている眼への対策・治療・予防について

WHO(世界保健機関)と国際電気通信連合(ITU)が共同で実施する「MyopiaEd プログラム」は、中国・シンガポール・韓国・オーストラリア・南アフリカ・サウジアラビア・アイルランド・日本などが参加しています。子ども・保護者・教育者に向けて、SMS やアプリで近視予防の情報(屋外活動・デジタル 機器使用・定期検診の重要性など)を配信し、世界的な近視の進行を抑え、正しい生活習慣と受診行動を促す教育啓発を行っています。

参照:WHO のホームページ

<https://www.who.int/publications/i/item/9789240044814>

・強度近視の定義について

一般的に、屈折度数  $-6.00$  ジオプトリー(D)以上、または眼軸長  $26.5\text{mm}$  以上を「強度近視

(high myopia)」と定義します。これは国際的にも用いられている基準です。参照:Flitcroft DI, He M, Jonas JB, et al. Invest Ophthalmol Vis Sci. 2019

<https://doi.org/10.1167/iovs.18-25957>